

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称
株式会社 ガルバ興業 三原工場
- (2) 事業所の所在地
広島県三原市沼田西町小原7 3 番地4 6
- (3) 業種
2462 溶融亜鉛めっき業
- (4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）を基準年度とし、令和5年度から令和9年度（令和5年4月～令和10年3月）までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

- 1 基本的な考え方
当社は、全ての社員が、環境保護の重要性を認識すると共に、日常の業務を通じて、地域社会地球環境の維持、向上に貢献します。
特に、今日の環境問題の中でも、とりわけ重要視されている地球温暖化防止については、自らの事業活動のみならず、構築物の延命化および省資源化を考慮し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。
- 2 方針
- 省資源・省エネルギー等の推進
従業員一人ひとりが省資源・省エネルギーを心掛け、リデュース、リユース、リサイクルを含め環境に配慮した活動を行います。
 - 社会構築物の延命化
リニューアル（再めっき）事業の推進により、構築物を延命させ地球資源の有効利用に努めます。
 - 廃棄物の排出抑制、リサイクルを推進します。
廃棄物の低減のための作業方法の見直し等廃棄物の発生抑制に努めます。
 - 環境配慮意識の向上
全社員に対して環境に関連する教育を実施し、事業活動における環境配慮の重要性について認識を高めます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 令和（ 4 ）年度	直近年度 令和（ 4 ）年度
二酸化炭素	4,384（t-CO ₂ ）	4,384（t-CO ₂ ）

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成（ ）年度	直近年度 令和（ ）年度
二酸化炭素	0	

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成（ ）年度	直近年度 令和（ ）年度
メタン	0	
一酸化二窒素	0	
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)	0	

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和 (4) 年度)	削減目標		目標年度 (令和 (9) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	4,384	5.0	219	4,165
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
その他 温室効果ガス				
温室効果ガス 実排出量総計	4,384	5.0	219	4,165
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産量（t）

単位：排出量（t-CO₂），原単位量（t），削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和 (4) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 (9) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	4,384	31,032	0.141	5.0	4,165	31,032	0.134
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	4,384	31,032	0.141	5.0	4,165	31,032	0.134
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	2,298	31,032	0.074	5.0	2,183	31,032	0.070
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は原単位ベースで5年後に5%の削減を目標とする。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	LNG使用量を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> 生産効率のアップによる稼働時間の短縮 最適温度の再考によるボイラーの適正運転
2	電気使用量の削減	電気の使用量を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> 生産効率のアップによる稼働時間の短縮 冷暖房の適正管理 休憩時間の消灯の徹底 集塵機の適正運転 電解効率の改善による整流器の電力抑制

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

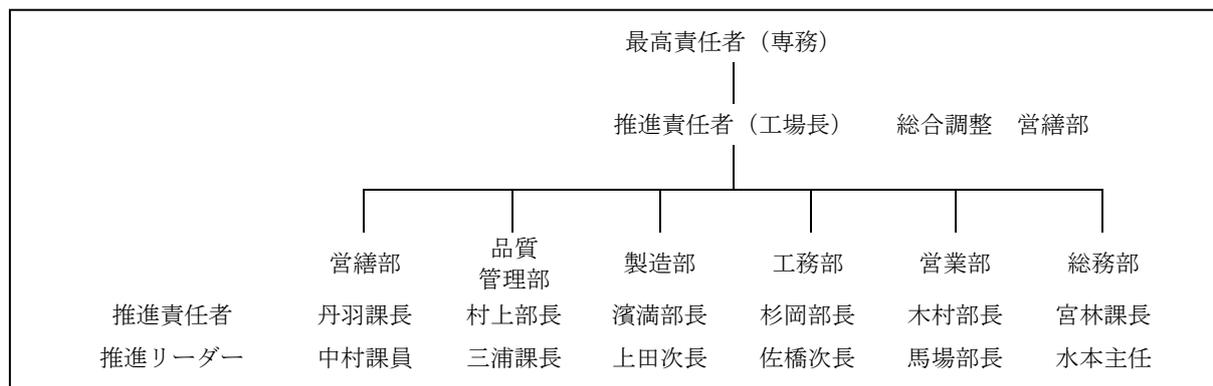
○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

営繕部を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、マネジメントレビューにおいて定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

また、毎年度の取組状況、点検・評価内容等については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

- ・経営連絡会で公表する。
- ・会社受付に備え付けて閲覧する。